

アークフラッシュされた全国 48箇所の老人施設は 8 年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュNEWS をダウンロードによりご覧頂けます

香港で子供を中心にインフルエンザが流行し、12 日までに 1 歳から 7 歳の 3 人が死亡したことを受け、香港教育局は域内の幼稚園、小学校、特殊学校などを 13 日から 28 日までの 2 週間、休校とすると発表した。中国新聞社が伝えた。香港衛生防護センターによれば、域内の幼稚園や小学校などでは 3 月に入ってからインフルエンザ患者が増加し、12 日までに 23 校で 184 人が感染した。香港では 03 年春に新型肺炎 SARS が発生し、鳥インフルエンザも春にはやることが多いため、市民の間には今回のインフルエンザの流行がこれらの病気と関連があるのではないかとの不安も広がっている。ただし衛生当局の担当者は「死亡した 3 人に共通の原因は今のところ見つかっておらず、うち 2 人は違うタイプのインフルエンザに感染したことが確認された」として、SARS と鳥インフルエンザの感染の可能性を否定した。

2008 年 3 月 4 日、中国新聞社の報道によると、中国で結核による死亡者が毎年 13 万人に達し、結核患者数に関して中国は世界第 2 位の大国になったという

「中国は世界でも結核による負の利益が大きな国のひとつとなった」

3 月 24 日に迫った「世界結核デー」を控え、国家衛生部は昨日、同データを発表すると同時にこのように述べた。現在、中国国内の結核患者は 450 万例で、そのうち伝染性の強い結核患者は 150 万例。治療を必要とする活動性結核患者は毎年新たに 145 例発生しており、また、結核患者の 80% は農村部に集中し、青年・中年層が 75% を占めているという。この結果から、今年の世界結核デーに向けた衛生部の取り組みに相当に力が入っている。世界結核デーは、結核抑制への協力を世界に呼び掛けるために WHO が制定。中国では今年、「結核をコントロールしよう 責任はみんなにある」をテーマに、結核防止の宣伝と健康維持教育活動を展開していく。衛生部は各地に対して、健康促進実施計画に結核防止知識の宣伝・普及を内容とする重要項目を盛り込むよう要求し、一般大衆の結核に関する知識の普及率向上に尽力。また、学生や出稼ぎ農民、サラリーマンなど結核患者を含むコミュニティに呼び掛け、進んで結核予防組織で無料検査と治療を受けるよう指導していくという。このほか、中国疾病予防コントロールセンターでは 2005 年より現代結核コントロール政策を実施してきた。北京市や上海市、湖北省、広東省など 22 の省区市で全面的な結核コントロールを展開しており、結核の撲滅を目指している。

2008年3月13日、広東省広州市の市場で、ニワトリ114羽が突然死する事態が発生した。地元当局は市場内のニワトリ500羽全てを焼却処分し、家禽(かきん)の売買を一時禁止するなど、緊急措置を講じている。14日付で広東省のニュースサイト「大洋網」が伝えた。ニワトリの大量死が確認されたのは、同省広州市リーワン区のある市場。調査の結果、死亡したニワトリは同市場の養鶏場で飼育されたものではないことが判明した。迅速に対応すべく、区の関連部門は市場内のニワトリ全てを市内の処理場で当日中に焼却処分し、市場周辺の消毒を徹底するよう指導。また市の幹部は、今回の事態を重く受け止め、死因の解明に全力を尽くすよう指し、感染拡大を防ぐよう呼び掛けている。現在のところ、感染の拡大は効果的に食い止められているようだ。

東広島市は14日、市立高屋中央保育所(147人、大森多恵子所長)で3~6歳の園児27人が吐き気や下痢などの症状を訴え、うち3人と給食調理員2人からノロウイルス検出されたと発表した。重症者はなく、全員が快方に向かっている。同市児童福祉課によると、園児27人は11日夕方~夜中に相次いで症状を訴えたという。県保健環境センターが10、11両日の同所の給食を検査するなど、感染源の調査を急いでいる

清原和博内野手(40)が体調を崩し、14日に予定していた練習を取りやめた。本屋敷コンディショニングコーチによると「昨夜(13日)に体調を崩して大阪市内の病院で診察したところ『ロタウイルス感染症であろう』ということでした」と説明した。ロタウイルスとは、主に乳幼児に多く見られる急性下痢症で、ノロウイルスに比べ発熱などの症状が重く、感染力も強いという特徴を持っている。清原も下痢、おう吐、発熱などの症状が見られるという。成人はかかりづらいとはいえ他の選手への影響を配慮して「感染する可能性がある間は練習を控えます」と同コーチ。3日間の自宅での安静期間を含め、1週間程度は様子を見る予定

厚生労働省は10日、インドネシア・バリ島から帰国した23歳男性2人が、ネズミのノミから感染する「発疹(はっしん)熱」を発症したと発表した。いずれも既に回復している。同省はバリ島などへの渡航者に対し、ネズミが出るような不衛生な場所を避け、ノミに刺されないよう注意喚起した。

新型インフルエンザの感染爆発(パンデミック)が起きた際、小中高校を学校閉鎖すると、ピーク時の患者数が4割以上減るとの推計を英仏の研究チームがまとめた。研究チームは「学校閉鎖は論議のある対策だが、一定の効果があることが示せた」としている。10日付の英科学誌「ネイチャー」に発表した。英インペリアル・カレッジのファーガソン教授らは、仏国内のインフルエンザ患者のデータを基に学校閉鎖の効果を推計した。仏の小中高校では、インフルエンザが流行する冬季に約2カ月間と長い冬休みがあるからだ。欧州で新型インフルエンザの流行が始まった国が、全国の学校を長期閉鎖し、児童・生徒の行動は冬休みと同様だと仮定した。その結果、流行国の患者総数は閉鎖しない場合に比べ13~17%減、流行ピーク時の患者数は39~45%減になると予測された。1

8歳未満に限ればピーク時の患者は47～52%減るといふ

アークフラッシュ施工代理店へのお知らせ

アークフラッシュ本部では可視光型光触媒の塗料化を実験しておりましたが、この度、販売体制が整いましたのでお知らせいたします。

可視光型の光触媒はプラチナを利用して脱酸素状態で酸化チタンを製造するもので可視光の範囲で今までの紫外線型と同様に反応いたします。もちろん紫外線にも反応するように従来の光触媒も混入させております。より、たしかな反応を必要とする所に使用が可能です。施工方法は従来と同様です。5kgの少量販売を計画しており、従来型と共有して使用ください。

容姿 5kg 価格 :@22600/kg (送料込み)

使用数量 :平方メートル当たり 2g使用

*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュNEWSはホームページよりご覧になれます。